

各 部 等 の 長 様

市 長

令和5年度予算編成方針について(通知)

令和4年3月に策定した「中期財政見通し」では、令和5年度において13億3900万円の財源不足が見込まれ、加えて、長期化する新型コロナウイルス感染症や昨今の原油価格・物価高騰等の影響により、本市の財政は更に厳しい状況を迎えることが予想されます。

こうした中、令和5年度は、「第五次宇部市総合計画前期実行計画」の2年目として、将来都市像「ひとが輝き 交流ひろがる わたしたちの宇部(まち)」の実現に向け、「共創」の考え方を基に、4つの重点プロジェクトを中心に前期実行計画に掲げる施策を効率的・効果的に展開していくこととします。

このため、施策の優先順位の洗い直しや、事業の必要性・効果性の検証を踏まえた見直しを更に徹底し、将来にわたって持続可能な財政運営を図っていくとともに、中長期的な視点に立って、次代への投資や負担を意識した予算編成を行うこととします。

ついては、下記に留意の上、予算見積りを行うよう通知します。

記

1 基本方針

- (1) 「令和5年度重点事業」に財源を重点配分するので、前期実行計画に掲げる目標指標の達成に向けて、E B P Mや共創・連携の考え方を取り入れながら、施策を積極的に立案すること。
- (2) 「令和5年度重点事業」以外の施策的事业は、その効果についてデータ等を基に検証し、必要に応じて事業の再構築を行うなど、行政資源の最適化を図ること。また、令和4年度事務事業の見直しで検討した結果は予算へ反映させること。
- (3) 新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰等による影響に対し、市民生活の安定と地域経済の回復に向けた対策を講じること。
- (4) 市民サービスの向上と行政運営の効率化(職員負担の軽減を含む。)に向けて、デジタル技術の活用を積極的に検討すること。
- (5) 国・県などの動向を把握し、より有利な補助メニューの活用や新たな補助金の獲得を図るとともに、民間資金の活用など新規の財源確保に努めること。また、制度改正等に対しては適切に対応すること。
- (6) 限られた財源の有効活用の観点から、決算における不用額の発生要因を十分に分析し、多額の不用額が発生しないよう予算の精査を行うこと。
- (7) 施設の維持・更新については、各施設の「個別施設計画」に基づく方向性を踏まえた上で、ライフサイクルコストに留意しつつ、適正な見積りを行うこと。また、施設の廃止等に伴う遊休資産の活用による成果を歳入に反映すること。

- (8) 市議会からの意見・要望や監査委員による決算審査意見などについては、可能な限り施策に反映すること。
- (9) 市政懇談会等を通じて把握した市民ニーズに的確に対応していくために、実効性の高い事業スキームを構築すること。

2 令和5年度重点事業

- ・コロナ禍、物価高騰に対応する事業
- ・第五次総合計画前期実行計画の重点プロジェクト事業
 - 1 暮らし安心・安全プロジェクト
 - 2 たくましい産業育成プロジェクト
 - 3 子ども未来応援プロジェクト
 - 4 まちの賑わい創出プロジェクト

3 見積入力基準

令和5年度予算見積入力基準

| 区 分 | 一 般 財 源 見 積 入 力 基 準 | 備 考 |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------|-----|
| 令和5年度重点事業 | E B P Mを活用して、事業手法・事業量を精査した年間必要額 | |
| 施策的経費 | ◆継続費に係るもの 事業手法・事業量を精査した年間必要額 | |
| | ◆その他事業 令和4年度当初予算額（一般財源）の範囲内 | |
| 管理的経費 | ◆債務負担行為、長期継続契約に係るもの、公債費、公債費に準じるもの、市町法令外負担金 年間必要額 | |
| | ◆扶助費、人件費、繰出金、公営企業への負担金等 P D C Aサイクルを用いた検証や創意工夫による見直し効果を反映させた額 | |
| | ◆個別施設計画に基づく事業 事業手法・事業量を精査した年間必要額 | |
| | ◆上記以外の経費 令和4年度当初予算額（一般財源）を上限とし、P D C Aサイクルを用いた検証や創意工夫による見直し効果を反映させた額 | |

財政課
内線 8173、8174